



廿日市市教委だより

～ 子どもたちの笑顔を守るのはわたしたち ～



令和3年
8月30日
第5号

今年の夏は、大雨やコロナウイルス感染拡大によって、心配の絶えない日が続いたかと思います。また、広島県では8月27日から緊急事態措置が実施されることとなり、感染拡大防止対策を徹底して行うことが必要となります。計画通りに教育活動を実施できないなど、様々な困難があると思いますが、この市教委だよりを通して、それぞれの学校での素晴らしい取組や先生方の頑張る姿などを伝えることで、少しでも先生方に元気を与え、「自校でもやってみようかな」と感じてもらえるものがあるとよいなと思います。

2学期もまた皆で一つ一つ乗り切っていきましょう！



8月より、廿日市市教育委員会主催で「ICTできるんだもん講座」を開催しています。GIGA スクール構想が進み、廿日市市立小・中学校にも児童生徒が使用するタブレット端末が整備されました。令和3年度から一人1台の端末を用いて子どもたちの学びが、「より主体的に！」「より深い学びに！」なるよう、授業づくりを研究していくための講座です。



学校に整備された機器の取り扱い方から Google のアプリケーションの使い方まで、2学期からの授業に備えて先生方も準備しています。ICT 指導員が訪問して研修する形で、8月末までに10校からの依頼があり、現在も実施中です。また、個々で学べるようにオンラインでの講座も実施しました。困り感や関心のある内容を、個々で選び、テレビ会議での説明を聞きながら、実際に Chromebook を操作して使い方を学べるようになっていきます。

2学期以降も講座を実施し、Chromebook を活用した授業づくりの支援を進めます。「より主体的に！」「より深い学びに！」を実現させていきましょう。

また、ICT 指導員・ICT 支援員は実際の授業でも子どもたちの端末操作を支援していきます。



大野東小学校での研修

第1回教育長ミーティング

令和3年7月14日(水)に、広島県教育委員会による教育長ミーティングとして、金剛寺小学校を訪問しました。今回の訪問のテーマは、「GIGA スクール構想」。金剛寺小学校は、今年度より「個別最適な学びに関する実証研究事業」の指定を受け、ICT を活用しながら学習の個別化を図る取組を実施しており、その取組の一端を見せていただきました。

「個別最適な学びに関する実証研究事業」指定校 金剛寺小学校の実践より

Point 子ども達に多様な選択肢と自己決定を！



黙々と学習に取り組む、自然に協議し、協働して学ぶ姿が見られました。

4学年 算数科
「学びをいかそう やってみよう」

小数の学習のまとめとして、自分で問題をつくり、Chromebook を活用して友達同士で出題し合っていました。意欲的に発信する雰囲気があり、4年生ながら Chromebook を使い慣れてきているという印象でした。

5学年 社会科
「米づくりのさかんな地域」

単元を貫く問い「なぜ庄内平野は米づくりが盛んなのか？」を解決するために、教科書やインターネットを活用して調べ、調べたことを根拠に、意見が交わされていました。デジタルとアナログを行き来しながらの授業に、学びの多様性を感じました。

6学年 国語科
「防災ポスターを作ろう」
算数科
「資料の調べ方」

統計グラフコンクールに出品することを単元末のゴールとして、国語科と算数科の関連を図り、授業が進められていました。模造紙に手書きでまとめる児童もいれば、Chromebook を使ってまとめる児童もいて、まとめ方を自己選択でき、学びの個別化を感じました。

目指せ！日本一の図書室！

子ども達が本に興味をもち、本に親しむことができるように、各小・中学校において、様々な工夫をされています。

今回は、「本を読むきっかけの提供」に関する取組の工夫を紹介します。〈令和2年度読書活動推進事例集より〉

○先生や図書委員おすすめの本の紹介コーナー



子ども達は、身近な大人や友達が読んでいる本に興味をもちやすいため、きっかけづくりに効果的！

○市民図書館と連携したキャリア学習



図書館の仕事に触れ、図書館に足を運ぶきっかけづくりにもなります！

特別支援教育の視点に基づいた 学習指導と生徒指導

令和3年8月4日（水）に開催した令和3年度プログレス研修「生徒指導主事研修（第2回）」及び「特別支援教育推進研修（第2回）」で、岡山県教育委員会が作成している「起立性調節障害対応ガイドライン」について紹介しました。

最近耳にすることが増えてきた「起立性調節障害（OD）」とは、どのような障害なのでしょう。

起立性調節障害（OD）とは・・・

主に思春期に好発する**自律神経系の不調からくる身体の病気**。

脳や全身に必要な血液が行き渡らないので、立ちくらみやめまい、動機、朝起き不良。倦怠感や頭痛・腹痛など様々な症状を現します。

起床時に症状が強く現れて登校できなくなる子どももいます。朝の不調が不登校の初期症状に似ているため、心理的問題を指摘されたり、怠けやサボりと誤解されたりして、この障害が見逃されてしまうことがあります。

このガイドラインは岡山県教育委員会のHPにも掲載されています。全職員が正しく理解し、悩んでいる子どもや家族を応援する第一歩にしていきましょう！



ICT活用への道

タブレットをこうして活用しています！第3弾

今月号は「阿品台中学校」です。

今年度、阿品台中学校では、「中学校英語におけるICTを活用した言語活動充実プロジェクト」の研究指定を受けています。

これは、ICT（電子黒板やタブレット端末）を効果的に活用することによって、英語教育の中で言語活動を充実させるとともに、生徒の英語力向上に向けた研究をする取組です。

授業参観にうかがった日の授業では、「Online Voice Recorder」というオンラインツールを使っていました。子ども達一人ひとりが、タブレット端末に内蔵されているマイクを使って自分の声を録音します。音声ファイルとして保存することができるので、繰り返し再生して自分の発音を確認することができます。子ども達は、「録音しては再生し」を繰り返し、発音を修正していました。従来であれば、発音をペアやグループの人に聞いてもらうことはできましたが、自分で聞いてみることを可能にすることができました。もちろん、ペアやグループの人に聞いてもらって、アドバイスを受けることも可能です。

今までにない方法を可能にして、その時に合った方法を選ぶことができるようになったことは、子ども達にとっても良いことだと思います。さらに、録音されたファイルは、Classroomで先生に提出していました。



授業の時間には限りがあって、先生が一人ずつの発音をその場で聞き取ると、1時間では終わらないことも予想されます。50分の授業時間内で、「子ども達が言語活動に取り組んでいる時間が多く充実している」、そういった授業でした。また、新たな評価方法や指導方法の可能性を感じました。

阿品台中学校

